貫入結果表示ソフト

Ｇグラフ

Ver 2.4.0.0

取扱説明書

2011年 5月

日東精工株式会社
制御システム事業部

貫入結果表示ソフト　Gグラフ　取扱説明書　目次

１．はじめに 1
２．使用環境 1
３．インストール 1
　３－１　Windows7 1
　３－２　Windows XP 2
４．アンインストール 3
　４－１　Windows7 3
　４－２　Windows XP 3
５．Gグラフの起動 4
　5－１　Windows7 4
　5－２　Windows XP 4
６．Gグラフの終了 4
７．GeoKarteとの通信 5
　７－１　通信を始める前に 5
　７－２　通信手順 5
　７－３　通信時のエラー 6
８．データの表示 7
　８－１　データファイルの読み込み 7
　８－２　グラフの表示 8
　８－３　土質データの変更 8
　８－４　データを25cm毎に丸める 9
　８－５　クリップボードへのコピー 9
９．印　刷 10
　９－１　データの印刷 10
　９－２　プリンタの設定 10
１０．データの保存 11
１１．設　定 12
　１１－１　グラフ表示の設定 12
　１１－２　データ加工の設定 13
　１１－３　通信ポートの設定 13
　１１－４　一時ファイルのフォルダ指定 14
　１１－５　1ページ印刷行数の設定 14
１２．簡易データ入力 15
　１２－１　データの新規作成 15
　１２－２　基本的な操作 16
　１２－３　各データの入力方法 17
１３．その他 18
　１３－１　換算N値について 18
　１３－２　25cmのまるめかたについて 18
１４．Ｑ　＆　Ａ 19
　１４－１　通常の操作におけるトラブル 19
　１４－２　簡易入力でのトラブル 20

１． はじめに

貫入試験結果表示ソフト Gグラフ は、自動貫入試験機 GeoKarte の制御装置に記憶された試験内容を読み込んで、表やグラフの表示および印刷を行うものです。基礎選定などにおける本ソフトの出力結果の利用については、試験者の責任のもとに行っていただくとともに、本ソフトの出力結果を用いた場合の施工およびその建築物において、万が一問題が発生したとしても、当社はその責任を負いかねますので、この点あらかじめご了解の上、ご使用下さい。

Gグラフは、次の機能を備えています。

・GeoKarteからのデータを複数個同時にファイルにすることができます。
・表とグラフを同時に表示することができます
・グラフは粘土層、砂層を色で（印刷時にハッチングパターン、色）区別できます。
・画面上で容易に粘土層・砂層の設定ができます。
・25cm毎にデータを丸めて表示、印刷およびファイル出力ができます。
・簡易データ入力機能により手作業での入力データをグラフ化することができます。

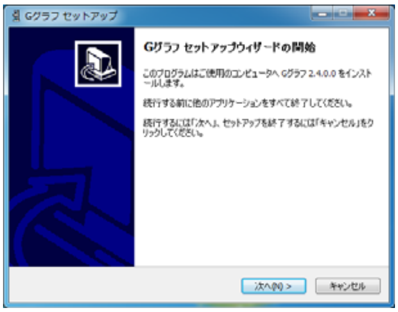
２． 使用環境

使用機種	:	シリアル通信ポート(RS232C)を持つもの
使用OS	:	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
ディスプレイ	:	800×600ドット（256色）以上推奨

３． インストール

３－１ Windows7

（1）Gグラフセットアップ CD－ROMをCD－ROMドライブにセットします。。自動的にインストールプログラムが実行されます。自動実行されない場合はCD－ROM内の SETUP.EXE を実行してください。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]または[許可]をクリックしてください。
（2）セットアッププログラムが起動すると「G グラフセットアップウィザードの開始」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして下さい。
（3）「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。ライセンスおよびソフトに関する注意事項を承諾いただいた時点で、[同意する]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

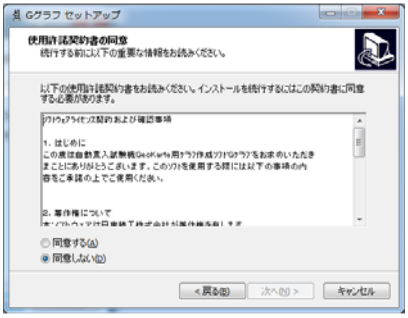


このプログラムはご使用のコンピュータへ Gグラフ 2.4.0.0 をインストールします。

続行する前に他のアプリケーションをすべて終了してください。

続行するには「次へ」、セットアップを終了するには「キャンセル」をクリックしてください。

セットアップウィザードの開始



続行する前に以下の重要な情報をお読みください。

以下の使用許諾契約書をお読みください。インストールを続行するにはこの契約書に同意する必要があります。

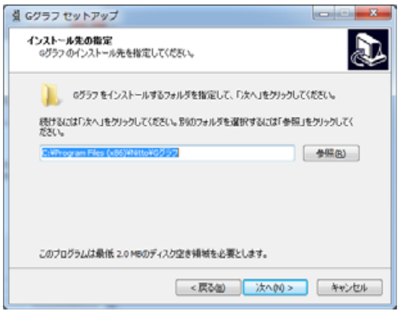
ソフトウェアライセンス契約および確認事項

1. はじめに
この度は自動貫入試験機GeoKarte用グラフ作成ソフトGグラフをお求めいただきまことにありがとうございます。このソフトを使用する際には以下の事項の内容をご承諾の上でご使用ください。

2. 著作権について

○ 同意する(A)
● 同意しない(D)

使用許諾契約書の同意



Gグラフ のインストール先を指定してください。

Gグラフ をインストールするフォルダを指定して、「次へ」をクリックしてください。

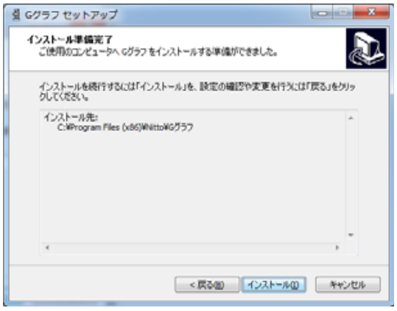
続けるには「次へ」をクリックしてください。別のフォルダを選択するには「参照」をクリックしてください。

C:¥Program Files (x86)¥Nitto¥Gグラフ

このプログラムは最低 2.0 MBのディスク空き領域を必要とします。

インストール先の指定

（4）「インストール先の指定」画面が表示されます。インストール先ディレクトリを設定します。変更する必要が無ければ、[次へ]ボタンをクリックしてください。
（5）「インストール準備完了」画面が表示されます。[インストール]ボタンをクリックしてください。
（6）「Gグラフセットアップウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

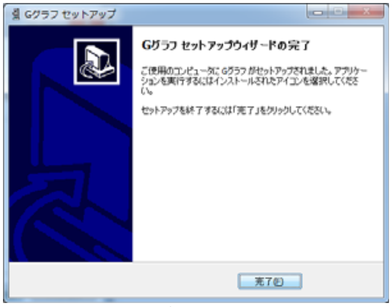


ご使用のコンピュータへ Gグラフ をインストールする準備ができました。

インストールを続行するには「インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻る」をクリックしてください。

インストール先:
C:¥Program Files (x86)¥Nitto¥Gグラフ

インストール準備完了



ご使用のコンピュータに Gグラフ がセットアップされました。アプリケーションを実行するにはインストールされたアイコンを選択してください。

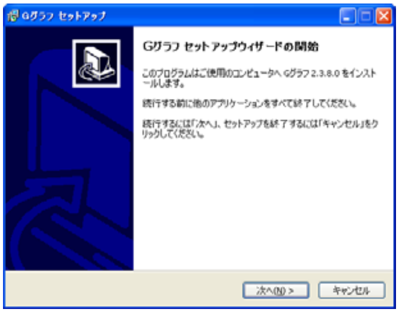
セットアップを終了するには「完了」をクリックしてください。

セットアップウィザードの完了

３－２ Windows XP

G グラフのインストールは、コンピュータの管理者アカウントのユーザーが行ってください。
制限付きアカウントのユーザー、ゲストアカウントのユーザーではインストールできません。

（1）GグラフセットアップCD－ROMをCD－ROMドライブにセットします。自動的にインストールプログラムが実行されます。自動実行されない場合はCD－ROM内の SETUP.EXE を実行してください。
（2）セットアップププログラムが起動すると「G グラフセットアップウィザードの開始」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして下さい。
（3）「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。ライセンスおよびソフトに関する注意事項を承諾いただいた時点で、[同意する]を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
（4）「インストール先の指定」画面が表示されます。インストール先ディレクトリを設定します。変更する必要が無ければ、[次へ]ボタンをクリックしてください。



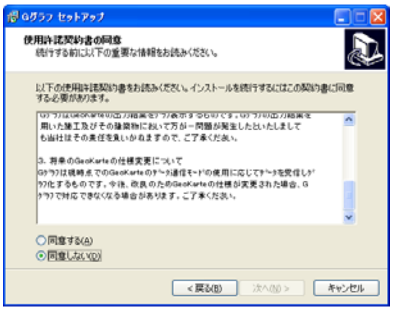
Gグラフ セットアップウィザードの開始

このプログラムはご使用のコンピュータへ Gグラフ 2.3.8.0 をインストールします。

続行する前に他のアプリケーションをすべて終了してください。

続行するには「次へ」、セットアップを終了するには「キャンセル」をクリックしてください。

セットアップウィザードの開始

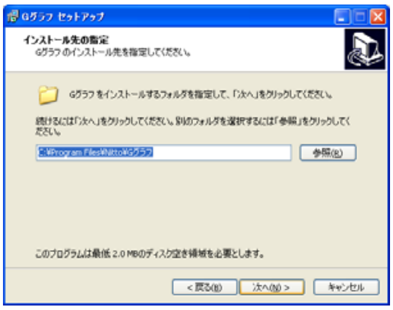


使用許諾契約書の同意
続行する前に以下の重要な情報をお読みください。

以下の使用許諾契約書をお読みください。インストールを続行するにはこの契約書に同意する必要があります。

○ 同意する(A)
● 同意しない(D)

使用許諾契約書の同意



インストール先の指定
Gグラフ のインストール先を指定してください。

Gグラフ をインストールするフォルダを指定して、「次へ」をクリックしてください。

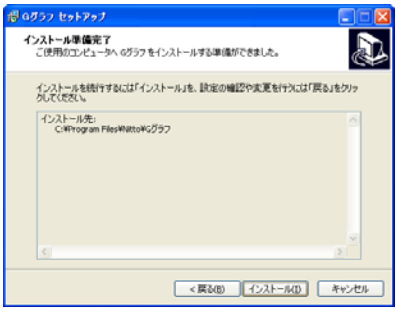
続けるには「次へ」をクリックしてください。別のフォルダを選択するには「参照」をクリックしてください。

C:¥Program Files¥Nitto¥Gグラフ

このプログラムは最低 2.0 MBのディスク空き領域を必要とします。

インストール先の指定

（5）「インストール準備完了」画面が表示されます。[インストール]ボタンをクリックしてください。
（6）「Gグラフセットアップウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」ボタンをクリックしてください。

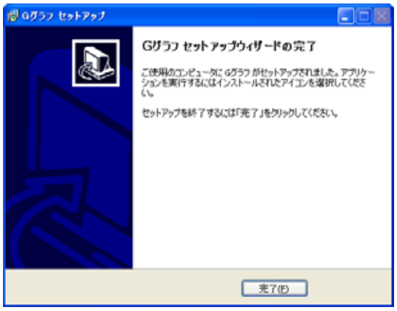


インストール準備完了
ご使用のコンピュータへ Gグラフ をインストールする準備ができました。

インストールを続行するには「インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻る」をクリックしてください。

インストール先:
C:¥Program Files¥Nitto¥Gグラフ

インストール準備完了



Gグラフ セットアップウィザードの完了

ご使用のコンピュータに Gグラフ がセットアップされました。アプリケーションを実行するにはインストールされたアイコンを選択してください。

セットアップを終了するには「完了」をクリックしてください。

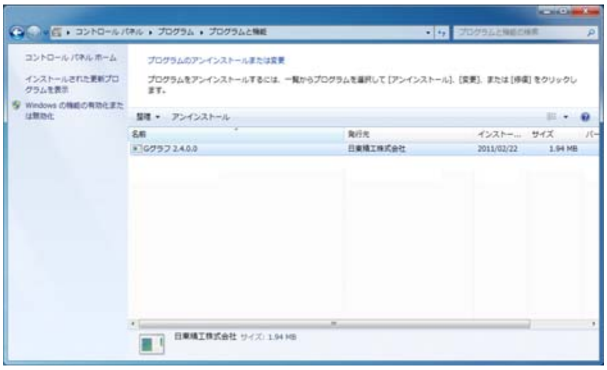
セットアップウィザードの完了

４．アンインストール

＜注意＞
Gグラフを削除するためにファイルをごみ箱に捨てないで下さい。
必ず、プログラム機能または(プログラムの追加と削除を使用して削除して下さい。

４－１　Windows7

（1）[スタート]ボタン、[コントロール　パネル][プログラム]、[プログラムの機能]の順にクリックします。一覧から「Gグラフ 2.4.0.0」を選択し、[アンインストール]をクリックします。

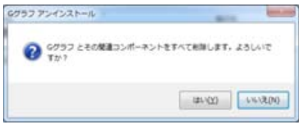

コントロール パネル ▸ プログラム ▸ プログラムと機能
プログラムと機能の検索
コントロール パネル ホーム
インストールされた更新プログラムを表示
Windows の機能の有効化または無効化
プログラムのアンインストールまたは変更
整理 ▾
アンインストール

プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。

名前	発行元	インストール...	サイズ
Gグラフ 2.4.0.0	日東精工株式会社	2011/02/22	1.94 MB

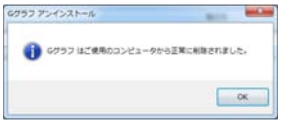
日東精工株式会社 サイズ: 1.94 MB

（2）アンインストールの確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。


Gグラフ アンインストール
はい(Y)
いいえ(N)

Gグラフ とその関連コンポーネントをすべて削除します。よろしいですか？

（3）アンインストール終了画面が表示されますので、[OK]をクリックします。


Gグラフ アンインストール
OK

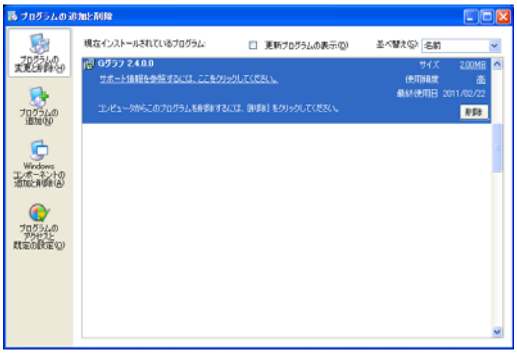
Gグラフ はご使用のコンピュータから正常に削除されました。

４－２　Windows XP

（1）[スタート]ボタン、[コントロール　パネル]の順にクリックします。

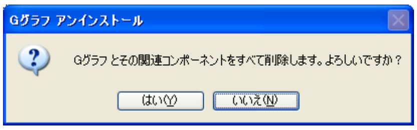
（2）コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックし、[プログラムの追加と削除]画面を表示します。

（3）[現在インストールされているプログラム]の一覧から、「Gグラフ 2.4.0.0」を選択し、[削除]ボタンをクリックします。


プログラムの追加と削除
プログラムの変更と削除(H)
プログラムの追加(N)
Windows コンポーネントの追加と削除(A)
プログラムのアクセスと既定の設定(O)
現在インストールされているプログラム:
□ 更新プログラムの表示(D)
並べ替え(S): 名前
Gグラフ 2.4.0.0
サイズ 2.00MB
使用頻度 高
最終使用日 2011/02/22
サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。
削除

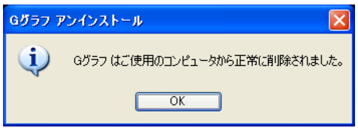
コンピュータからこのプログラムを削除するには、[削除] をクリックしてください。

（4）アンインストールの確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。


Gグラフ アンインストール
はい(Y)
いいえ(N)

Gグラフ とその関連コンポーネントをすべて削除します。よろしいですか？

（5）アンインストール終了画面が表示されますので、[OK]をクリックします。


Gグラフ アンインストール
OK

Gグラフ はご使用のコンピュータから正常に削除されました。

５． Ｇグラフの起動

5－１　Windows7

Windows 7
Gグラフの実行は、コンピュータの管理者として実行する必要があります。

（1）[スタートボタン]、[全てのプログラム]をクリックします。
（2）ggraph を右クリックして表示されるメニューより、[プロパティ]をクリックします。《図 5-1》
（3）ggraph のプロパティ画面が表示されます。[互換性]タブにある、[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを付けて、[OK]をクリックします。《図 5-2》
（4）以上で、G グラフを管理者として実行する設定は終了です。
（5）設定終了後、G グラウを実行する際に、[ユーザーアカウントの制御]画面が表示されます。《図 5-3》この画面では、[はい(Y)]を選択してください。G グラフが実行されます。

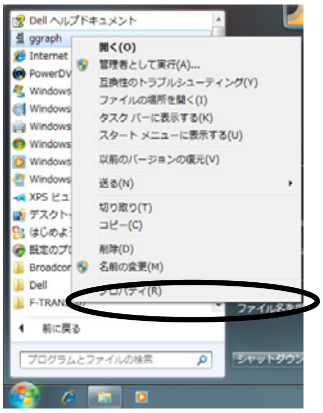
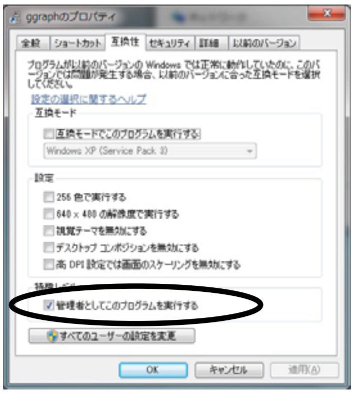

Dell ヘルプドキュメント
ggraph
Internet
PowerDV
Windows
XPS ビュ
デスクト
はじめよ
既定のプ
Broadcor
Dell
F-TRAN
開く(O)
管理者として実行(A)...
互換性のトラブルシューティング(Y)
ファイルの場所を開く(I)
タスク バーに表示する(K)
スタート メニューに表示する(U)
以前のバージョンの復元(V)
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
前に戻る
プログラムとファイルの検索
シャットダウン

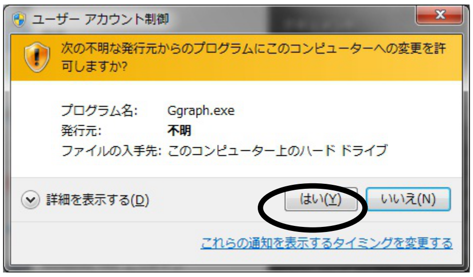
図 5-1


ggraphのプロパティ
全般
ショートカット
互換性
セキュリティ
詳細
以前のバージョン
設定の選択に関するヘルプ
互換モード
設定
特権レベル
すべてのユーザーの設定を変更
OK
キャンセル
適用(A)

プログラムが以前のバージョンの Windows では正常に動作していたのに、このバージョンでは問題が発生する場合、以前のバージョンに合った互換モードを選択してください。

□互換モードでこのプログラムを実行する
Windows XP (Service Pack 3)
□256 色で実行する
□640 x 480 の解像度で実行する
□視覚テーマを無効にする
□デスクトップ コンポジションを無効にする
□高 DPI 設定では画面のスケーリングを無効にする
☑管理者としてこのプログラムを実行する

図 5-2


ユーザー アカウント制御
詳細を表示する(D)
はい(Y)
いいえ(N)
これらの通知を表示するタイミングを変更する

次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?

プログラム名: Ggraph.exe
発行元: 不明
ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ

図 5-3

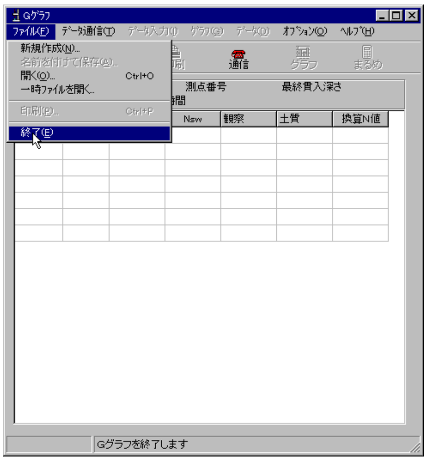
5－２　Windows XP

G グラフの実行は、コンピュータの管理者アカウントのユーザーが行ってください。

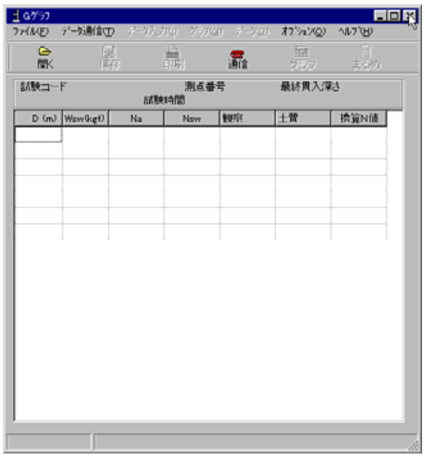
[スタート]ボタン[すべてのプログラム][Gグラフ]をクリックするか、デスクトップ上のGグラフアイコンをダブルクリックしてください。Gグラフが起動します。

６． Ｇグラフの終了

「ファイル」－「終了」を選択するか、右上の「×」ボタンをクリックするとGグラフは終了します。


Gグラフ
ファイル(F)
データ通信(T)
データ入力(I)
グラフ(G)
データ(D)
オプション(O)
ヘルプ(H)
新規作成(N)...
名前を付けて保存(A)...
開く(O)...
Ctrl+O
一時ファイルを開く...
印刷(P)...
Ctrl+P
終了(E)
通信
グラフ
まるめ
測点番号
最終貫入深さ
Nsw
観察
土質
換算N値

Gグラフを終了します


Gグラフ
ファイル(F)
データ通信(T)
データ入力(I)
グラフ(G)
データ(D)
オプション(O)
ヘルプ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ
試験コード
測点番号
最終貫入深さ
試験時間
D (m)
Wsw(kgf)
Na
Nsw
観察
土質
換算N値

７．ＧｅｏＫａｒｔｅとの通信

７－１　通信を始める前に

パソコンとGeoKarteコントローラをRS－232Cケーブルで接続して下さい。

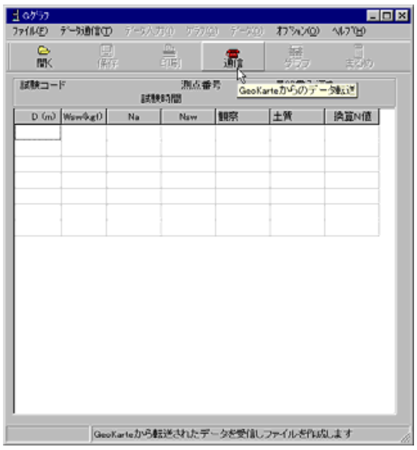
通信ケーブルはクロス結線のものをご使用下さい。
お客様がご使用のパソコン種類によって使用するケーブルが異なります。詳しくはGeoKarteの取り扱い説明書をお読み下さい。

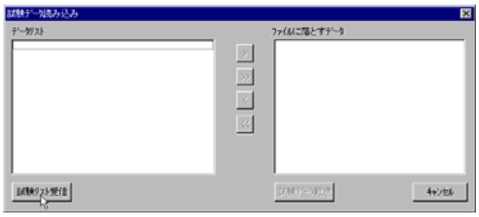
GeoKarte側は以下の手順で通信モードにして下さい。

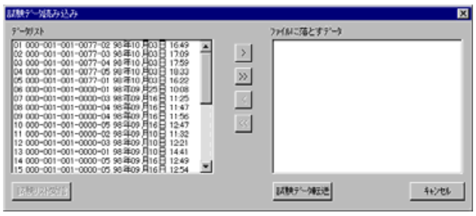
1. 切り替えスイッチを「自動」にして電源を入れて下さい。
2. 中止スイッチを押して下さい。
3. ↑↓キーを使用して「データ転送モード」を選択後、「SET」キーを押して下さい。

７－２　通信手順

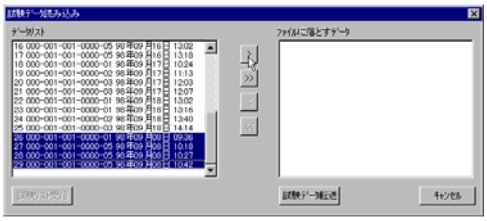
1. 「通信」ボタンを押して下さい。
2. 「試験データ読み込み」ダイアログボックスの「試験リスト受信」ボタンを押して下さい。「データリスト」リストボックスにGeoKarte内のデータの一覧が表示されます。

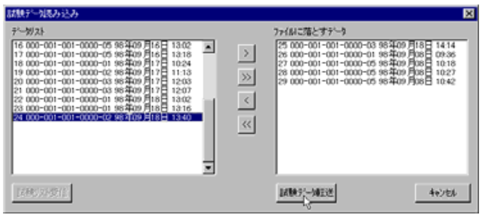

Gｸﾞﾗﾌ
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
ｸﾞﾗﾌ
まとめ
GeoKarteからのﾃﾞｰﾀ転送
試験コード
測点番号
試験時間
D (m)
Wsw(kgf)
Na
Nsw
観察
土質
換算N値
GeoKarteから転送されたﾃﾞｰﾀを受信しﾌｧｲﾙを作成します


試験ﾃﾞｰﾀ読み込み
ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
ﾌｧｲﾙに落とすﾃﾞｰﾀ
>
>>
<
<<
試験ﾘｽﾄ受信
試験ﾃﾞｰﾀ転送
ｷｬﾝｾﾙ


試験ﾃﾞｰﾀ読み込み
ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
ﾌｧｲﾙに落とすﾃﾞｰﾀ
>
>>
<
<<
試験ﾘｽﾄ受信
試験ﾃﾞｰﾀ転送
ｷｬﾝｾﾙ

3. 各ボタン「＞」、「≫」、「＜」、「≪」を使用して、「ファイルに落とすデータ」リストボックスに読み込みたいデータを移動させて下さい。（各ボタンの働きは下の説明を参照）
4. 「試験データ転送」ボタンを押すと選択したデータがファイルとしてパソコンのディスク上に落とされます。


試験ﾃﾞｰﾀ読み込み
ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
ﾌｧｲﾙに落とすﾃﾞｰﾀ
>
>>
<
<<
試験ﾘｽﾄ受信
試験ﾃﾞｰﾀ転送
ｷｬﾝｾﾙ


試験ﾃﾞｰﾀ読み込み
ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
ﾌｧｲﾙに落とすﾃﾞｰﾀ
>
>>
<
<<
試験ﾘｽﾄ受信
試験ﾃﾞｰﾀ転送
ｷｬﾝｾﾙ

「＞」ボタン　：	「データリスト」リストボックスで選択した（反転しているデータ）のみを「ファイルに落とすデータ」リストボックスに移動させます。
「≫」ボタン　：	「データリスト」リストボックス上の全てのデータを「ファイルに落とすデータ」リストボックスに移動させます。
「＜」ボタン　：	「ファイルに落とすデータ」リストボックスで選択した（反転しているデータ）のみを「データリスト」リストボックスに戻します。
「≪」ボタン　：	「ファイルに落とすデータ」リストボックス上の全てのデータを「データリストボックスに戻します。

・データファイル名は試験年月日および試験開始時刻を表したものとなります。

（例）97年07月01日12時31分．gtd

・データファイルの格納場所を設定することができます。詳しくは　11－4 「一時ファイルのフォルダ指定」をお読み下さい。

注）　データを転送しただけではGグラフには何も表示されません。ファイルの読み込み動作を行って下さい。詳しくは　8－1 「データファイルの読み込み」をお読み下さい。

７－３　通信時のエラー

通信時のエラーには次の様なものがあります。

・「ポートオープンエラー」

設定されているComポートが他のアプリケーションによって占有されています。この場合は、他にComポートを使用しているアプリケーションがないかを確認して下さい。また、以前Comポートを使用していたアプリケーションが異常終了もしくはバグによってComポートを占有し続ける場合もありますので、一旦、パソコンを再起動してみるとエラーがなくなる場合もあります。

・「送信時エラー」

パソコンからのコマンドによる応答がジオカルテから帰ってこない場合のエラーです。ジオカルテが通信コマンド待ち状態になっているかを確認して下さい。

・「接続エラー」

機器が正しく接続されていないときに生じるエラーです。ケーブルが設定されたComポートに正しく接続されているか。ジオカルテの電源が入っていて、通信コマンド待ち状態になっているか等をチェックして下さい。

また、通信ケーブルがまちがっている場合にもこのエラーが発生しますので、ご注意下さい。

・「受信時エラー」
・「送受信エラー」
・「その他のエラー」

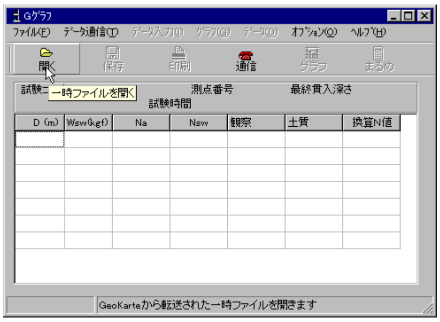
その他の通信に関するエラーです。このエラーが出た場合は、一旦ジオカルテとパソコンを再起動してもう一度やり直して下さい。

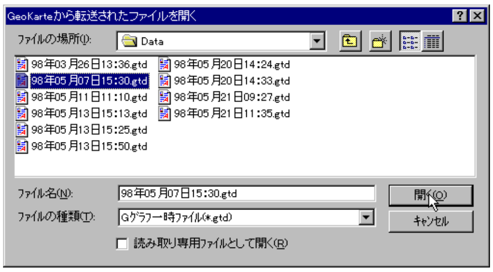
８．データの表示

８－１　データファイルの読み込み

GeoKarteからのデータ転送によって作成されたファイルの読み込みは次の手順で行って下さい。

1. 「開く」ボタンを押して下さい
2. 「GeoKarteから転送されたファイルを開く」ダイアログボックスにおいて、読み込むデータを指定して下さい。

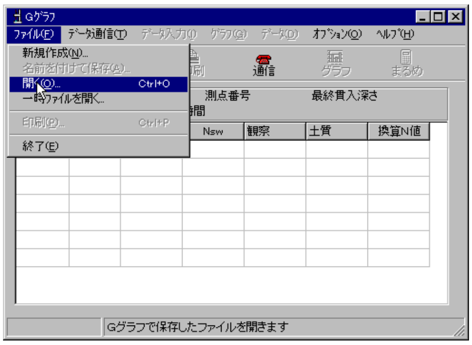

Gグラフ
ファイル(F)　データ通信(T)　データ入力(I)　グラフ(G)　データ(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
開く　保存　印刷　通信　グラフ　まるめ
一時ファイルを開く
試験　測点番号　最終貫入深さ　試験時間
D (m)　Wsw(kgf)　Na　Nsw　観察　土質　換算N値
GeoKarteから転送された一時ファイルを開きます

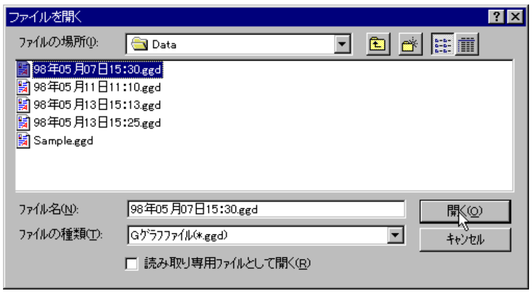

GeoKarteから転送されたファイルを開く
ファイルの場所(I):　Data
98年03月26日13:36.gtd
98年05月07日15:30.gtd
98年05月11日11:10.gtd
98年05月13日15:13.gtd
98年05月13日15:25.gtd
98年05月13日15:50.gtd
98年05月20日14:24.gtd
98年05月20日14:33.gtd
98年05月21日09:27.gtd
98年05月21日11:35.gtd
ファイル名(N):　98年05月07日15:30.gtd
ファイルの種類(T):　Gグラフ一時ファイル(*.gtd)
開く(O)
キャンセル
☐ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

・この操作では一時ファイルのフォルダ指定で設定されたフォルダが開きます。
（１１－４「一時ファイルのフォルダ指定」参照）

その他のファイルの読み込みは次の手順で行って下さい。

1. 「ファイル」－「開く」を選択して下さい。
2. 「ファイルを開く」ダイアログボックスにおいて読み込むデータを指定して下さい。


Gグラフ
ファイル(F)　データ通信(T)　データ入力(I)　グラフ(G)　データ(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
新規作成(N)...
名前を付けて保存(A)...
開く(O)...　Ctrl+O
一時ファイルを開く...
印刷(P)...　Ctrl+P
終了(E)
通信　グラフ　まるめ
測点番号　最終貫入深さ
Nsw　観察　土質　換算N値
Gグラフで保存したファイルを開きます


ファイルを開く
ファイルの場所(I):　Data
98年05月07日15:30.ggd
98年05月11日11:10.ggd
98年05月13日15:13.ggd
98年05月13日15:25.ggd
Sample.ggd
ファイル名(N):　98年05月07日15:30.ggd
ファイルの種類(T):　Gグラフファイル(*.ggd)
開く(O)
キャンセル
☐ 読み取り専用ファイルとして開く(R)

・ファイルの種類として次のファイルが選択できます。

Gグラフファイル　：　拡張子が‘.ggd’のファイル
GeoTermサンプル版ファイル　：　拡張子が‘.gsd’のファイル
Gグラフ手入力ファイル　：　拡張子が‘.gmd’のファイル

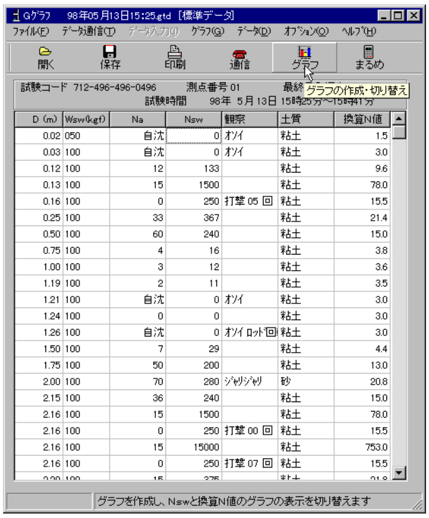
（注１）GeoTermｻﾝﾌﾟﾙ版のファイルを開く場合にはあらかじめ拡張子を'.gsd'に変更する必要があります。
（注２）25cm丸めデータはGグラフでは読み込むことはできません。

・エクスプローラから直接ドラッグアンドドロップしてファイルを開くこともできます。

・データを読み込むと同時に換算N値の計算を行います。換算式については　13－1「換算N値について」を参照して下さい。

８－２　グラフの表示

「グラフ」ボタンを押して下さい。グラフが表示されます。

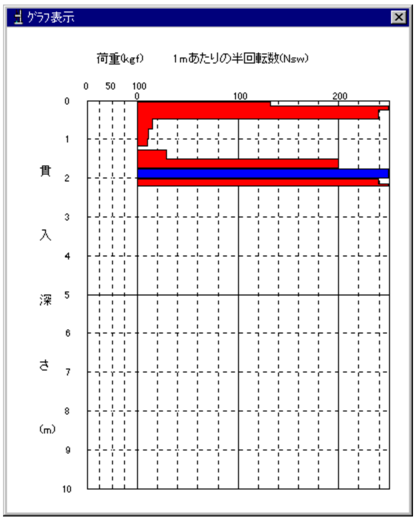

Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd ［標準データ］
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ
グラフの作成・切り替え

試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終

試験時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵｿｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

グラフを作成し、Nswと換算N値のグラフの表示を切り替えます


ｸﾞﾗﾌ表示
荷重(kgf)
1mあたりの半回転数(Nsw)
0
50
100
0
100
200
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
貫
入
深
さ
(m)

・グラフは土質の種類により色（印刷時はハッチング）が異なります。

土質	グラフの色	印刷時のハッチング
粘土	赤	格子
砂	青	斜線

・グラフの画面をダブルクリックか、「グラフ」ボタンを押すとNswと換算N値のグラフが切り替わります。

・グラフの大きさは自由に変えることができますが、縦横の比によってはラベルなどが正確に表示されない場合があります。

８－３　土質データの変更

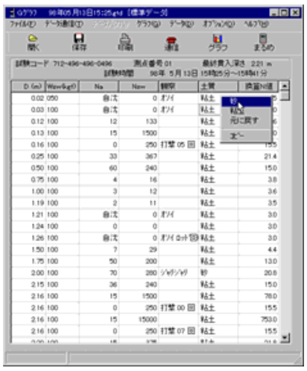
1. 表で変更したい土質データのセルを選択して右クリックして下さい。
2. ’砂’、’粘土’、’元に戻す’から選択して下さい。

・変更したデータは最後に ＇*＇ がつきます。　（例）’砂*’

・通常、次の仕様で土質データが選択されます。

観察項目が砂・ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ　→　砂
その他　　　　　　　　　→　粘土

注）まるめたデータの表示状態では土質データの変更はできません


開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ
砂
粘土
元に戻す

＜補足＞

通常、観察項目が“ｶﾞﾘｶﾞﾘ”のときは、粘性土が選択されますが、下記の処理を行うことにより、砂質土を選択するように変更できます。

・”Gグラフ”という名称のフォルダ内（Gグラフのインストール先のフォルダ）にある”ObsTbl.tbl”というファイルをメモ帳等で開きます。

・次の行を探します。

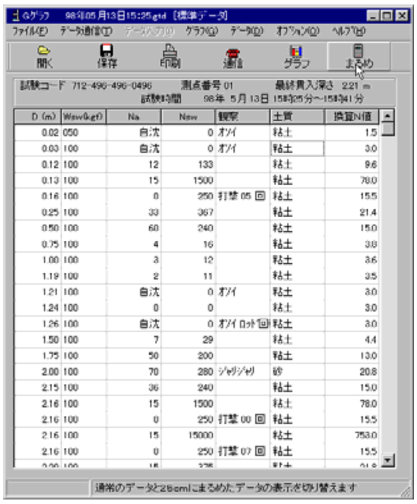
```
[P03]
obs=ｶﾞﾘｶﾞﾘ
Doshitu=砂質土
```

← この行を Doshitu=粘性土に変更します。

・ファイルを上書き保存します。

８－４　データを２５ｃｍ毎に丸める

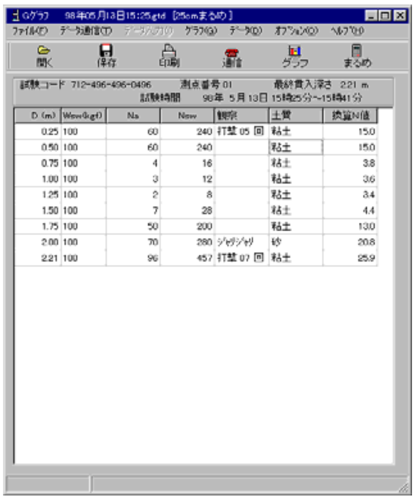
「まるめ」ボタンを押して下さい。グラフ及び表が25cm毎に丸められて表示されます。
丸めかたについては　13－2 「25cmのまるめかたについて」を参照して下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	70.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵﾝｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

通常のデータと25cmにまるめたデータの表示を切り替えます


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [25cmまるめ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

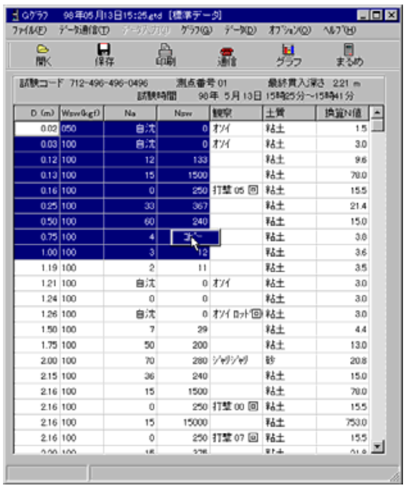
試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.25	100	60	240	打撃 05 回	粘土	15.0
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.25	100	2	8		粘土	3.4
1.50	100	7	28		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.21	100	96	457	打撃 07 回	粘土	25.9

注）まるめたデータの表示状態では土質データの変更はできません。

８－５　クリップボードへのコピー

表上で複数セルの選択をして右クリックするとセルの内容がクリックボードへコピーされます。
そのまま表計算ソフトなどにはりこんで下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ
ｺﾋﾟｰ

試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	70.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	[illegible]		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵﾝｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵﾝｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	70.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

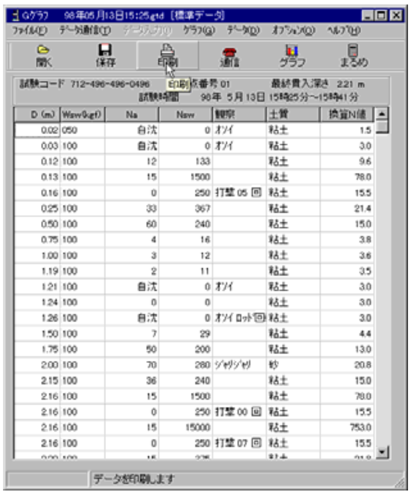
注）クリップボードのデータをGグラフに張り込むことはできません。

９．印　刷

９－１　データの印刷

1.「印刷」ボタンを押して下さい。

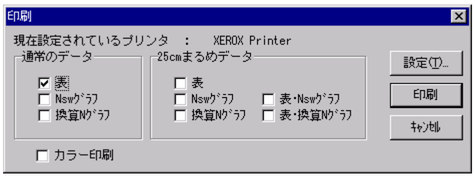
2.「印刷」ダイアログボックスにおいて印刷形式を指定して下さい。
チェックボックスをクリックすると，チェックマークが表示されますので、印刷したい形式のチェックボックスを選択してから「印刷」ボタンをクリックして下さい。



試験コード 712-496-496-0496　点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵｿｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

データを印刷します



現在設定されているプリンタ　：　XEROX Printer

通常のデータ
☑ 表
□ Nswｸﾞﾗﾌ
□ 換算Nｸﾞﾗﾌ

25cmまるめデータ
□ 表
□ Nswｸﾞﾗﾌ
□ 換算Nｸﾞﾗﾌ
□ 表・Nswｸﾞﾗﾌ
□ 表・換算Nｸﾞﾗﾌ

□ カラー印刷

・印刷形式は次の通りです。

通常のデータ
GeoKarteから直接読み出した形式で25cmまるめを行わないデータ形式です。

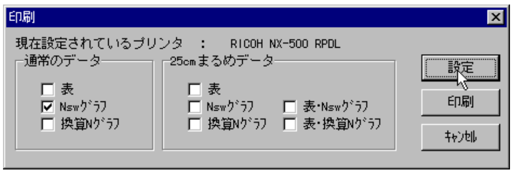
25cmまるめデータ
通常のデータを25cm毎に丸めたものです。
まるめかたについては　13－2　「25cmのまるめかたについて」を参照して下さい。

表　：　データを表形式で印刷します。
Nswグラフ　：　データをNswグラフ形式で印刷します。
換算Nグラフ　：　データを換算N値グラフ形式で印刷します。
表・Nswグラフ　：　1枚の用紙に表とNswグラフを印刷します。（25cmまるめデータのみ）
表・換算Nグラフ　：　1枚の用紙に表と換算Nグラフを印刷します。（25cmまるめデータのみ）

カラー　：　カラー印刷を行います

９－２　プリンタの設定

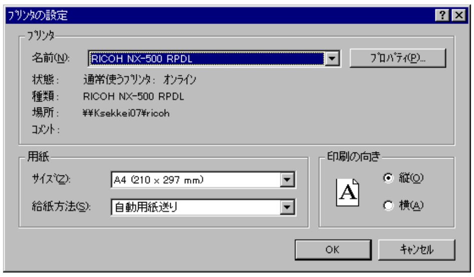
「印刷」ダイアログボックスにおいて「設定」をおすとプリンタの選択および設定を行うことができます。



現在設定されているプリンタ　：　RICOH NX-500 RPDL

通常のデータ
□ 表
☑ Nswｸﾞﾗﾌ
□ 換算Nｸﾞﾗﾌ

25cmまるめデータ
□ 表
□ Nswｸﾞﾗﾌ
□ 換算Nｸﾞﾗﾌ
□ 表・Nswｸﾞﾗﾌ
□ 表・換算Nｸﾞﾗﾌ



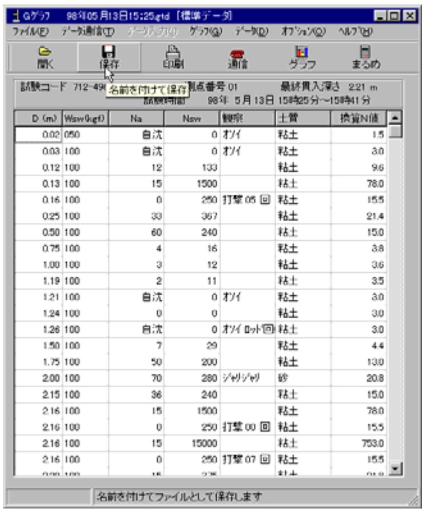
ﾌﾟﾘﾝﾀ
名前(N): RICOH NX-500 RPDL
状態: 通常使うﾌﾟﾘﾝﾀ; ｵﾝﾗｲﾝ
種類: RICOH NX-500 RPDL
場所: ¥¥Ksekkei07¥ricoh
ｺﾒﾝﾄ:

用紙
ｻｲｽﾞ(Z): A4 (210 x 297 mm)
給紙方法(S): 自動用紙送り

印刷の向き
● 縦(O)
○ 横(A)

１０．データの保存

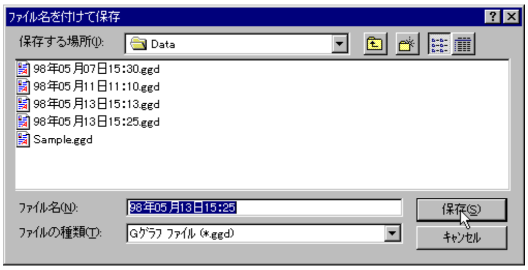
1. 「保存」ボタンを押して下さい。
2. 「ﾌｧｲﾙ名をつけて保存」ダイアログボックスにおいてファイルの種類・ファイルの名前を設定して保存して下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd［標準データ］
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ
名前を付けて保存

試験コード 712-49　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵﾂｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵﾂｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵﾂｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵﾂｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

名前を付けてファイルとして保存します


ﾌｧｲﾙ名を付けて保存
保存(S)
ｷｬﾝｾﾙ

保存する場所(I): Data

98年05月07日15:30.ggd
98年05月11日11:10.ggd
98年05月13日15:13.ggd
98年05月13日15:25.ggd
Sample.ggd

ﾌｧｲﾙ名(N): 98年05月13日15:25
ﾌｧｲﾙの種類(T): Gｸﾞﾗﾌ ﾌｧｲﾙ (*.ggd)

注 1）　選択できるファイルの種類はデータによって異なります。

- ファイルから開いたデータ（通信データ含む）
  Gグラフファイル　：　拡張子が‘. ggd’のファイル
  25cmまるめファイル　：　拡張子が‘. g25’のファイル

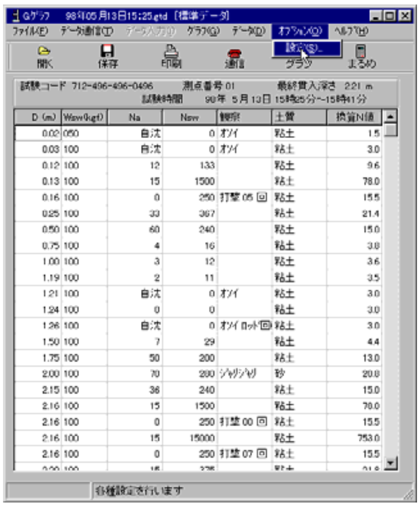
- 新規作成ファイルおよびそれを保存した手入力ファイル
  Gグラフ手入力ファイル　：　拡張子が‘. gmd’のファイル
  25cmまるめファイル　：　拡張子が‘. g25’のファイル

注2）　ファイル名の拡張子を省略した場合にはファイルの種類で選択している拡張子が自動的につけられます。

１１． 設　定

１１－１　グラフ表示の設定

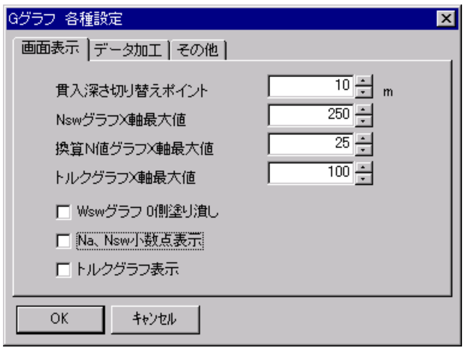
1. メニューの[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]-[設定]を選択して下さい。
2. 「画面表示」のタグを選んで下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
設定(S)...
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月13日 15時25分～15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵｿｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	200	ｼｬﾘｼｬﾘ	砂	20.0
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

各種設定を行います


Gグラフ 各種設定
画面表示
データ加工
その他
OK
キャンセル

貫入深さ切り替えポイント　10 m
NswグラフX軸最大値　250
換算N値グラフX軸最大値　25
トルクグラフX軸最大値　100
☐ Wswグラフ 0側塗り潰し
☐ Na、Nsw小数点表示
☐ トルクグラフ表示

各設定内容の意味は次の通りです。

・貫入深さ切り替えポイント
グラフの切り替えポイントを設定します。GグラフではグラフのY軸の値を貫入深さにより自動的に切り替えます。この切り替えの判断に使用する貫入深さを設定します。

・NswグラフX軸最大値
Nswグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

・換算NグラフX軸最大値
換算Nグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

・トルクグラフ X 軸最大値
トルクグラフ表示時のX軸の最大値を設定します。

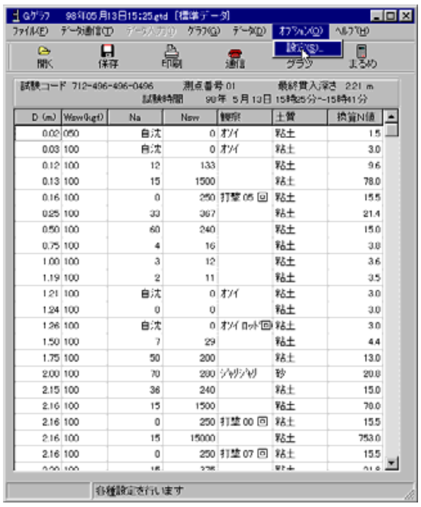
・Wsw グラフ 0 側塗りつぶし
Wsw グラフを 0N 側から塗りつぶすか 1kN 側から塗りつぶすか切り替えます。

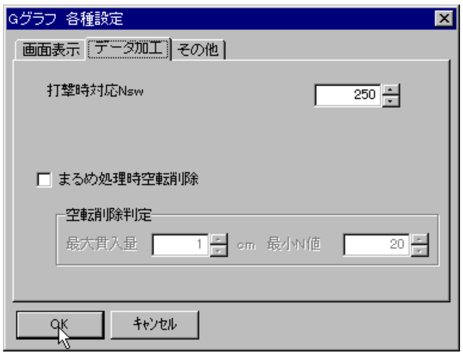
・Na、Nsw小数点表示
Na、NSW 値の小数点以下１桁までの表示、非表示を切り替えます。

・トルクグラフ表示
トルクグラフの表示、非表示を切り替えます。
トルクグラフは 25cm 丸めデータ表示時には非表示となります。

１１－２　データ加工の設定

1．メニューの[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]-[設定]を選択して下さい。
2.「データ加工」のタグを選んで下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd［標準データ］
ﾌｧｲﾙ(F)　ﾃﾞｰﾀ通信(T)　ﾃﾞｰﾀ入力(I)　ｸﾞﾗﾌ(G)　ﾃﾞｰﾀ(D)　ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)　ﾍﾙﾌﾟ(H)
設定(S)...
開く　保存　印刷　通信　グラフ　まるめ
各種設定を行います


Gグラフ 各種設定

画面表示　データ加工　その他

打撃時対応Nsw　250

☐ まるめ処理時空転削除

空転削除判定
最大貫入量　1　cm　最小N値　20

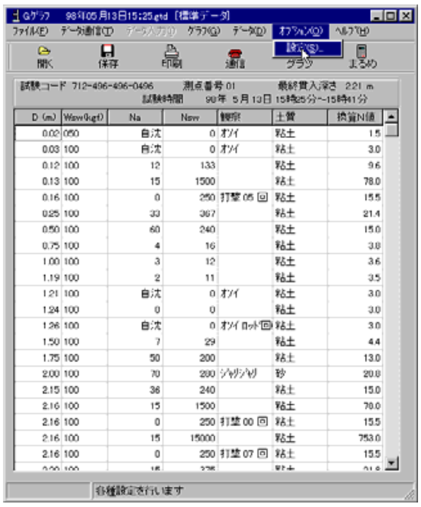
各設定内容の意味は次の通りです。

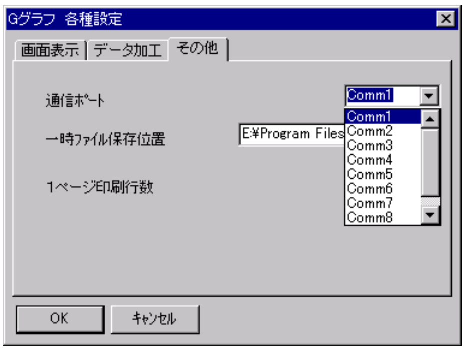
・打撃時対応Nsw
観察項目が「打撃」の場合を一定値のNswに対応させます。これにより、打撃貫入があった部分がグラフをみて地盤が緩いと誤判断することを防ぎます。

・まるめ処理時空転削除
25cmまるめ処理時において空転データを削除してからまるめるかどうかを選択します。
なお、この処理では「最大貫入量」以下の貫入量で「最小N値」以上のデータを空転データと見なして処理を行います。

１１－３　通信ポートの設定

1．メニューの[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]-[設定]を選択して下さい。
2.「その他」のタグを選んで下さい。
3. 使用する通信ポートをコンボボックスから選んで下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd［標準データ］
ﾌｧｲﾙ(F)　ﾃﾞｰﾀ通信(T)　ﾃﾞｰﾀ入力(I)　ｸﾞﾗﾌ(G)　ﾃﾞｰﾀ(D)　ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)　ﾍﾙﾌﾟ(H)
設定(S)...
開く　保存　印刷　通信　グラフ　まるめ
各種設定を行います


Gグラフ 各種設定

画面表示　データ加工　その他

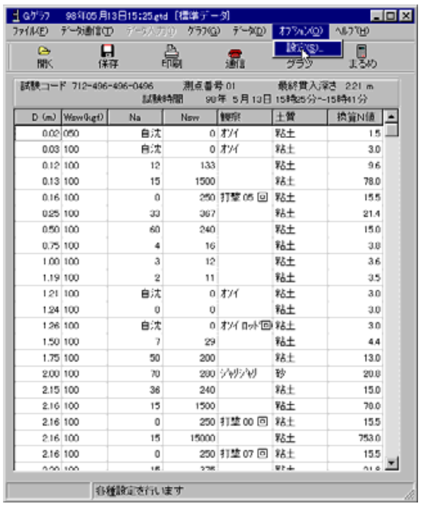
通信ﾎﾟｰﾄ　Comm1
一時ﾌｧｲﾙ保存位置　E:¥Program Files
1ﾍﾟｰｼﾞ印刷行数

Comm1
Comm2
Comm3
Comm4
Comm5
Comm6
Comm7
Comm8
OK
ｷｬﾝｾﾙ

１１－４　一時ファイルのフォルダ指定

GeoKarteとの通信において、作成されたデータファイルを書き込むフォルダの設定です。

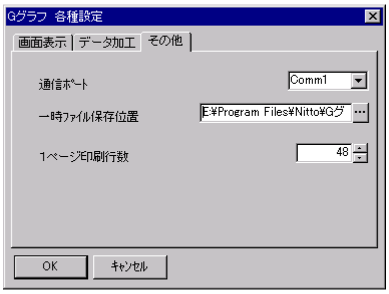
1.　メニューの[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]-[設定]を選択して下さい。
2.「その他」のタグを選んで下さい。
3.「一時ファイルの保存位置」を設定して下さい。


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
設定(S)...
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

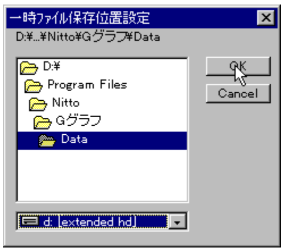
試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分〜15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵｿｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

各種設定を行います


Gグラフ 各種設定
画面表示
データ加工
その他
OK
ｷｬﾝｾﾙ

通信ﾎﾟｰﾄ　Comm1
一時ﾌｧｲﾙ保存位置　E:¥Program Files¥Nitto¥Gグ
1ページ印刷行数　48


一時ﾌｧｲﾙ保存位置設定
OK
Cancel

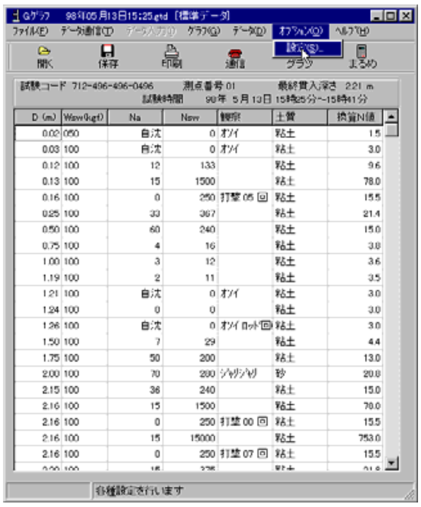
D:¥...¥Nitto¥Gグラフ¥Data

- D:¥
  - Program Files
    - Nitto
      - Gグラフ
        - Data

d: [extended hd]

注）一時ファイルをFDに設定する場合には常にFDをﾄﾞﾗｲﾌﾞに入れた状態で使用して下さい。
　　また、一時ファイルをFDにした場合は通信の処理速度が遅くなります。

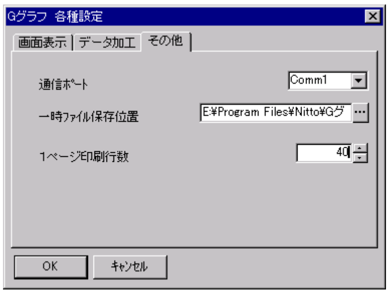
１１－５　１ページ印刷行数の設定


Gｸﾞﾗﾌ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ﾌｧｲﾙ(F)
ﾃﾞｰﾀ通信(T)
ﾃﾞｰﾀ入力(I)
ｸﾞﾗﾌ(G)
ﾃﾞｰﾀ(D)
ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)
ﾍﾙﾌﾟ(H)
設定(S)...
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

試験コード 712-496-496-0496　測点番号 01　最終貫入深さ 2.21 m
試験時間　98年 5月 13日 15時25分〜15時41分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.02	050	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	78.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	ｵｿｲ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	ｵｿｲ ﾛｯﾄﾞ回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ｼﾞｬﾘｼﾞｬﾘ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

各種設定を行います


Gグラフ 各種設定
画面表示
データ加工
その他
OK
ｷｬﾝｾﾙ

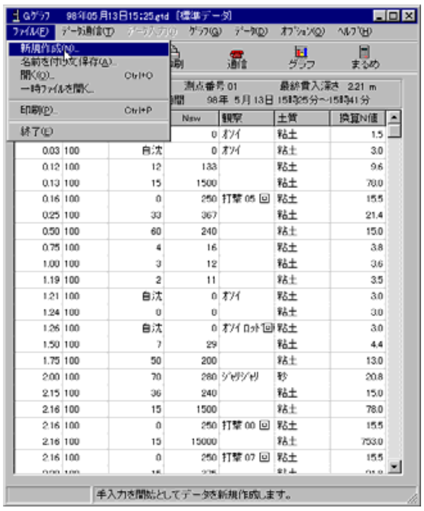
通信ﾎﾟｰﾄ　Comm1
一時ﾌｧｲﾙ保存位置　E:¥Program Files¥Nitto¥Gグ
1ページ印刷行数　40

1.　メニューの[ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)]-[設定]を選択して下さい。
2.「その他」のタグを選んで下さい。
3.「1ページ印刷行数の設定」を設定して下さい。

１２．簡易データ入力

１２－１　データの新規作成

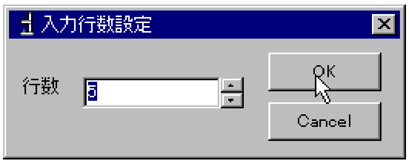
1. メニューの「ファイル（F）」－「新規作成(O)」を選択して下さい。
2. 「入力行数設定」ダイアログボックスにおいて初期行数を設定して下さい。空白のセルが設定行数分表示されます。


Gグラフ　98年05月13日15:25.gtd [標準データ]
ファイル(F)
データ通信(T)
データ入力(I)
グラフ(G)
データ(D)
オプション(O)
ヘルプ(H)
新規作成(N)...
名前を付けて保存(A)...
開く(O)...　Ctrl+O
一時ファイルを開く...
印刷(P)...　Ctrl+P
終了(E)
印刷
通信
グラフ
まるめ

測点番号 01　最終貫入深さ　2.21 m
時間　98年 5月 13日 15時25分～15時41分

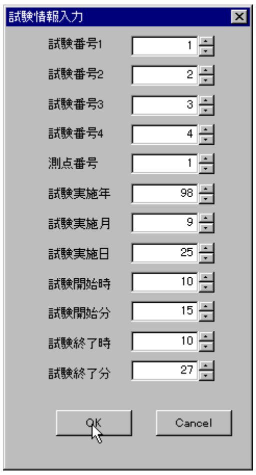
			Nsw	観察	土質	換算N値
			0	オソイ	粘土	1.5
0.03	100	自沈	0	オソイ	粘土	3.0
0.12	100	12	133		粘土	9.6
0.13	100	15	1500		粘土	70.0
0.16	100	0	250	打撃 05 回	粘土	15.5
0.25	100	33	367		粘土	21.4
0.50	100	60	240		粘土	15.0
0.75	100	4	16		粘土	3.8
1.00	100	3	12		粘土	3.6
1.19	100	2	11		粘土	3.5
1.21	100	自沈	0	オソイ	粘土	3.0
1.24	100	0	0		粘土	3.0
1.26	100	自沈	0	オソイ ロット回	粘土	3.0
1.50	100	7	29		粘土	4.4
1.75	100	50	200		粘土	13.0
2.00	100	70	280	ジャリジャリ	砂	20.8
2.15	100	36	240		粘土	15.0
2.16	100	15	1500		粘土	78.0
2.16	100	0	250	打撃 00 回	粘土	15.5
2.16	100	15	15000		粘土	753.0
2.16	100	0	250	打撃 07 回	粘土	15.5

手入力を開始としてデータを新規作成します。

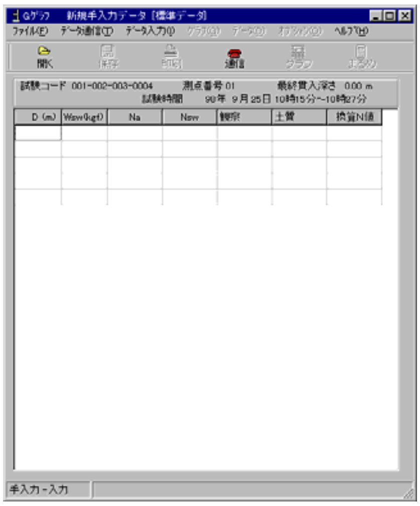

入力行数設定
OK
Cancel

行数　5

3. 「試験情報入力」ダイアログボックスにおいて試験情報を設定して下さい。空白のセルが設定行数分表示されます。


試験情報入力
OK
Cancel

試験番号1	1
試験番号2	2
試験番号3	3
試験番号4	4
測点番号	1
試験実施年	98
試験実施月	9
試験実施日	25
試験開始時	10
試験開始分	15
試験終了時	10
試験終了分	27


Gグラフ　新規手入力データ [標準データ]
ファイル(F)
データ通信(T)
データ入力(I)
グラフ(G)
データ(D)
オプション(O)
ヘルプ(H)
開く
保存
印刷
通信
グラフ
まるめ

試験コード 001-002-003-0004　測点番号 01　最終貫入深さ　0.00 m
試験時間　98年 9月 25日 10時15分～10時27分

D (m)	Wsw(kgf)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値

手入力-入力

参考）　試験情報の変更

1. 表の上にある試験情報の表示部分をダブルクリックすると、再び「試験情報入力」ダイアログボックスが表示されますので、データ入力後でも試験情報を変更することができます。

１２－２　基本的な操作

●「入力モード」と「編集モード」の状態があります。状態の切り替えはメニューの「データ入力」－「入力モード」、「編集モード」を選択して下さい。

・入力モード
　データを入力します。
・データ編集
　通常のデータと同じように「グラフ表示」「印刷」等を行います。

注）「入力モード」から「編集モード」への切り替えは、全部の行の「貫入深さ」、
　「荷重」のデータが埋まっていないとできません。
　もし、空いている行があれば、「行削除」で削除して下さい。

●入力モードにおいては「逐一入力」と「一括入力」の2種類の入力モードがあります。入力モードの切り替えは右クリックによって表示されるメニューを選択して下さい。

・逐一入力モード
　一つの項目ずつ入力します。
・一括入力モード
　一度に右クリックのメニューに従って入力します。

●データの入力時に行単位でセルを選択してマウスを右クリックすると次のメニューが表示されます。

・行追加
　選択した行の数だけ、選択した行の上に行を追加します。
・行削除
　選択した行を削除します
・消去
　選択した行の内容を消去します。行はそのまま残ります。
・コピー
　選択した行の内容を一時記憶します。
　（クリップボードに取り込まれます。）
・貼り付け
　一時記憶した行の内容を指定した行に上書きします。
　（他のアプリケーションからクリップボードに取り込まれたデータは上書きできません）

１２－３　各データの入力方法

データ種類	逐一入力モード	一括入力モード
貫入深さ D（m）	貫入深さを数字で入力します。必ず、前のセルより大きな値を入力して下さい。	１．貫入深さの列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 ２．項目として「埋め込み」と「逐一入力」が表示されますので「埋め込み」を選択します。 ３．開始値（cm）から始まって増分値（cm）ずつ増加させた値をセルに埋め込んでいきます。 ４．選択したセルに貫入深さが埋め込まれます。
荷重 Wsw（kgf）	荷重を数字で入力します。	１．荷重の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 ２．項目として各荷重値（１００～００５）と「逐一入力」が表示されますので荷重値を選択します。 ３．選択したセルに荷重値が埋め込まれます。
半回転数 Na	半回転数を数字で入力します。	１．半回転数の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 ２．項目として「自沈」と「逐一入力」が表示されますので自沈を選択します。 ３．選択したセルに「自沈」が埋め込まれます。 注）編集モードに切り替えた時点で荷重が100kgf未満、および荷重100kgfで半回転数のセルが　空白のものにはすべて「自沈」が埋め込まれます。
観察項目	観察項目を入力します。リターンキーを押した後で、↑↓キーで観察項目を選択して下さい。 注）登録されていない観察項目を入力した場合は正しくファイルに保存することができません。	１．観察項目の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 ２．観察項目の一覧および「逐一入力」が表示されますので、観察項目の一覧から観察項目を選択します。 ３．選択したセルに観察項目が埋め込まれます。 注）打撃回数の入力について 打撃回数の入力は'打撃00回'を観察項目で選択した後に逐一入力モードにて00の部分を打撃回数に書き換えて下さい。
土質	土質を入力します。リターンキーを押した後で、↑↓キーで土質項目を選択して下さい。 注）登録されていない土質項目を入力した場合は正しくファイルに保存することができません。	１．土質の列のみを複数選択してマウスを右クリックして下さい。 ２．土質項目の一覧および「逐一入力」が表示されますので、土質項目の一覧から土質項目を選択します。 ３．選択したセルに土質項目が埋め込まれます。

１３．その他

１３－１　換算Ｎ値について

N値への換算式として以下の式を使用しています。

０．０３×Wsw(kgf)＋０．０５×Nsw　　（粘土層）
０．０２×Wsw(kgf)＋０．０６７×Nsw　（砂質層）

注）土質が入力されなかった場合は粘土層として換算されます。

１３－２　２５ｃｍのまるめかたについて

25cm毎のまるめの仕様は以下の通りです。

１．空転の削除
- 設定により空転部分を削除する
- 空転か否かの判断基準は　１１－２「データ加工の設定」を参照

２．打撃項目の削除
- 25cm貫入する際に打撃が行われていた場合にはその打撃データを削除する
- 打撃があった場合はその25cmでの観察項目を打撃とし、25cm間での総打撃回数を記録する
- 25cmの区切りをまたがって打撃を行った場合は、貫入深さの浅い方にすべての打撃回数を振り分ける。
- 打撃の削除はあくまでデータがないものとして処理する。

３．自沈と回転貫入の選択

25cm内で自沈および回転貫入が混在していた場合は回転貫入の貫入量の合計と自沈の貫入量の合計を比較して、貫入量の多い方をその25cmの状態として選択する。ただし、それぞれの貫入量の合計が等しい場合、その層は自沈とする。

４．自沈層における荷重の選択について

自沈層であると判断した場合、その自沈の荷重毎の貫入量の合計を比較してもっとも貫入量の合計の多い荷重をその層の荷重として選択する。ただし、もっとも貫入量の合計の多い荷重が2種類以上存在した場合には、少ない荷重のデータを選択する。

５．回転貫入層における回転数について

回転貫入層であると判断した場合、回転数は合計とする。

６．観察項目の選択について

３．もしくは4．で選択されたデータにおける観察項目のなかで対応する貫入量の合計がもっとも多いものをその25cm間の観察項目とする。ただし、もっとも貫入量の合計が多い観察項目が2種類以上存在した場合には、先に（より貫入深さの浅い段階で）現れた観察項目を優先する。

７．土質の選択について

６．で選択されたデータの中で異なる土質が存在した場合には対応する貫入量の合計がもっとも多いものをその25cm間の土質とする。ただし、もっとも貫入量の合計が多い土質が2種類以上存在した場合には、その25cm間の土質は粘土とする。

１４．Ｑ ＆ Ａ

１４－１　通常の操作におけるトラブル

１．通信できない
GeoKarteとの通信が正しくできない場合は次の内容をチェックして下さい。

１）GeoKarteの操作
GeoKarteはデータ転送モードのコマンド待ち状態になっていますか
２）通信ケーブルの確認
通信ケーブルは正しいものを使用していますか。
お客様がご使用のパソコン種類によって使用するケーブルが異なります。詳しくはGeoKarteの取り扱い説明書（付録１．シリアル通信について）をお読み下さい。

３）通信ﾎﾟｰﾄの確認
通信ポートは正しく設定されていますか。ケーブルを接続した通信ポートを正しく設定して下さい。
詳しくは　１１－３「通信ポートの設定」をお読み下さい。

２．データが表示されない
データが表示されない場合は次の内容をチェックして下さい。

１）ファイルの読み込みのチェック
GグラフはGeoKarteの通信ではデータのファイルを生成するだけでデータの読み込みは行いません。８－１「データファイルの読み込み」を参考にして表示したいファイルを選択して下さい。
２）ファイルが読み込めない
正しい拡張子のついていないファイルは読み込めません。特にGeoTermサンプル版をご使用の場合は拡張子を'．gsd'に変更する必要があります。また、25cmまるめ形式で保存したファイルはGグラフで読み込むことはできません。詳しくは　８－１「データファイルの読み込み」をお読み下さい。

３．印刷できない
印刷が正しくできない場合は次の内容をチェックして下さい。

プリンタの設定
プリンタの設定は正しく行われていますか。
印刷の向きが横の場合は正しく印刷が行われません。
プリンタの設定は　９－２「プリンタの設定」を参照して下さい。

１４－２　簡易入力でのトラブル

１．データが右クリックで入力できない
次の内容をチェックして下さい。

１）一括入力モードの設定
一括入力モードに設定されていますか。詳しくは　１２－２「基本的な操作」を参照して下さい。

２）列の選択
複数の列を選択した状態では一括入力はできません。必ず、入力したい項目の列のみを選択して下さい。

２．行の追加・削除ができない
行の追加削除を行うには必ずセルを行単位で指定する必要があります。これは張り付けの場合も同様で、貼り付け先の選択エリアはコピーした際の選択エリアと等しい大きさでなくてはなりません。

３．編集モードに移れない
編集モードに移るには最低、貫入深さと荷重のデータがすべて埋まっている必要があります。確認して下さい。